

琉和の森だより

令和2年5月号

施設長 比嘉直樹



新型コロナウイルスと琉和の森

新型コロナウイルスが全世界に猛威を振るい、この1ヶ月で全世界で250万名が新型コロナウイルスに新たに感染し、日本国内においては約1万名、沖縄県においても約100名の新たな感染者の増加がありました。日本国内では緊急事態宣言が出され、それに伴い沖縄県においても緊急事態宣言が出されました。その間、琉和の森においてはスタッフの私生活における行動制限、スタッフ以外の訪問者の禁止や制限、面会の完全禁止など感染対策の更なる強化を図ってきました。関係者のご理解とご協力のおかげもあり、琉和の森では5月10日現在、感染者を出すことなく経過しています。日本国内においても、5月に入り徐々に新たな感染者数は減り、**特に沖縄県内においては新たな感染者は確認されていません**。しかし、新型コロナウイルスは無症状の保菌者が多数居ると考えられている為、抵抗力の低い方が多数入居している琉和の森においては入居者の生命と健康を守る為、社会情勢を十分に考慮した上で、今後の面会制限の解除などを決定したいと考えております。

新しい

ケアマネジャーです

前任の仲間施設ケアマネジャーの退職に伴い、令和2年4月より、併設の居宅支援事業所のセンター長であった宮城龍一が琉和の森の施設ケアマネに就任しました。感染対策の中で十分な挨拶は出来ていませんが今後ともよろしく申し上げます。

車・バイクいじりと釣りが趣味です！

私が思う

施設ケアマネジャーとは？

ケアプランの作成担当ですが、いつでも相談が出来る中立的な存在を目指しています。



ご協力とご理解のお願い。

PCR検査をした場合、保健所からの連絡は琉和の森ではなく御家族のみになっています。検査結果が出た場合は琉和の森への連絡を速やかにお願いします。また、琉和の森の入居者や関係者に感染者が出た場合は個人情報保護の上で、ご家族様に安心していただける環境を作る為に、必要な情報を全家族に提供する予定です。